

第9章

感染症対策事業

1 結核対策事業

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき健康診断を実施し、患者の早期発見・発症予防に努めるとともに、発見された患者については早期治癒にむけての生活指導等を実施しました。

(1) 結核登録状況

ア 新登録患者数：(年次推移) (各年累計)

年	区分	新登録患者数			罹患率(人口10万対)		
		全国	神奈川県	市	全国	神奈川県	市
H26年		19,615	1,329	96	15.4	14.6	13.3
H27年		18,280	1,311	79	14.4	14.4	11.0
H28年		17,625	1,192	57	13.9	13.0	7.90
H29年		16,789	1,143	70	13.2	12.5	9.75
H30年		15,576	1,024	60	12.3	11.2	8.35

平成30年は概数

イ 全登録者数：(年次推移) (各年12月31日現在)

年	区分	全登録者数			登録率(人口10万対)		
		全国	神奈川県	市	全国	神奈川県	市
H26年		47,845	3,556	259	37.6	39.1	35.8
H27年		44,888	3,426	224	35.3	37.5	31.1
H28年		42,299	3,213	196	33.3	35.1	27.2
H29年		39,664	3,028	190	31.3	33.1	26.5
H30年		37,146	2,777	140	29.4	30.3	19.4

平成30年は概数

ウ 活動性全結核登録者数：(年次推移) (各年12月31日現在)

年	区分	活動性全結核登録者数			有病率(人口10万対)		
		全国	神奈川県	市	全国	神奈川県	市
H26年		13,513	937	62	10.6	10.3	8.6
H27年		12,534	922	47	9.86	10.1	6.5
H28年		11,717	785	34	9.23	8.58	4.71
H29年		11,097	734	48	6.74	7.50	6.69
H30年		10,441	690	36	8.26	7.52	4.98

平成30年は概数

工 活動性分類別・新登録患者数

(各年累計)

区 分	活 動 性 結 核						潜在性 結核 感染症 (別掲)	
	総 数	肺 結 核 活 動 性				肺外結核 活動性		
		総 数	喀痰塗抹 陽性	その他の 結核菌 陽性	菌陰性・ その他			
H26年	96	73	33	31	9	23	38	
H27年	79	67	25	24	18	12	33	
H28年	57	48	23	20	5	9	37	
H29年	70	59	28	24	7	11	31	
H30年	60	49	26	21	2	11	19	
(再掲) 内訳	20歳未満	1	1	0	1	0	0	0
	20～29歳	4	3	1	2	0	1	5
	30～39歳	1	1	0	1	0	0	0
	40～49歳	4	3	2	1	0	1	5
	50～59歳	7	6	2	4	0	1	2
	60～69歳	10	10	5	4	1	0	4
	70歳～	33	25	16	8	1	8	3

才 活動性分類別・年齢階級別年末現在登録者数

(12月31日現在)

年齢階級別	年 末 現 在 登 録 者 数									潜在性 結核 感染症 (別掲)	
	総 数	活 動 性 結 核						不活動 性結核	活動性 不明		
		総 数	肺 結 核 活 動 性				肺外結 核活動 性				
総 数	140	36	30	17	10	3		6	56	48	62
(再掲) 内訳	20歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	20～29歳	11	2	2	1	1	0	0	4	5	8
	30～39歳	14	1	1	0	1	0	0	5	8	9
	40～49歳	14	1	1	1	0	0	0	8	5	8
	50～59歳	18	4	4	2	2	0	0	6	8	11
	60～69歳	24	6	6	4	1	1	0	12	6	13
	70歳～	59	22	16	9	5	2	6	21	16	11

(2) 定期健康診断

感染症法に基づき、結核患者の早期発見のため、胸部エックス線検査を受ける機会のない 65 歳以上の人を対象に市民結核健康診断を実施しました。

年度	胸部エックス線検査受検者数
H26 年度	1,785
H27 年度	1,895
H28 年度	1,746
H29 年度	1,704
H30 年度	1,694

(3) 接触者健康診断

感染症法に基づき結核患者の家族や接触者に胸部エックス線検査や I G R A 検査等を実施し、感染者の発見と発病予防、発病者の早期発見及び感染源の把握に努めました。

また、事業所や施設等において結核患者が発生した場合には、状況を調査し、接触者に対する健康診断の実施結果報告を求めました（平成 30 年度は、11 か所（病院 5 か所、福祉施設 2 か所、事業所等 4 か所）を対象に訪問調査を実施）。

受診者数	健診内容（延）				健 診 結 果			医療機関紹介の受診結果				
	胸部エックス線検査	パルクリン反応検査	喀痰検査	IGRA 検査	異常なし	医療機関紹介	要観察	結核治療開始	LTBI 治療開始	IGRA 陽性要観察	その他	未受診
261	96	9	0	222	248	8	5	0	5	2	0	1

(4) 結核患者管理指導

結核患者の早期治療に向けて、各種情報を集約し病状把握に努めるとともに、療養上の支援を行いました。

ア 管理検診

結核登録者に対して、結核の予防または医療上必要があると認めるとき、感染症法に基づき精密検診を実施し、病状経過の把握に努めました。

受診者数	検診内容（延）		検 診 結 果		
	胸部エックス線検査	喀痰検査	異常なし	医療機関紹介	要観察
49	49	1	47	1	1

イ 結核定期病状調査

結核登録者のうち、病状把握の困難な者については、医療機関等から報告を受け、病状等を把握し、訪問指導等の結核対策の迅速化・円滑化を図り、結核の再発や二次感染の防止に努めました。

報告件数 92 件

ウ 結核患者保健指導

入院・通院治療をしている結核登録者に対し、面接または訪問を行い患者本人の治癒に向けた服薬指導を行いました。また、本人・家族等から正確な情報収集を行い、適切な対象に健診が実施できるよう努めました。

指導内訳（延人数）			
訪問	電話	面接	文書
186 人	1,532 人	136 人	1,839 人

（５）結核患者の服薬支援（地域DOTS事業）

結核患者が確実に抗結核薬を服用することにより、結核のまん延を防止するとともに、多剤耐性結核の発生を予防することを目的に結核患者の服薬支援を行いました。

ア 訪問服薬支援員制度・薬局DOTS制度

訪問服薬支援員制度として、市に登録している看護師等が結核患者の自宅を訪問し、服薬確認を行いました。薬局DOTS制度については、市に登録している薬局に結核患者が通い、薬剤師が服薬確認を行います。

訪問服薬支援員制度及び薬局DOTS制度による支援患者数	
訪問服薬支援員制度	薬局DOTS制度
3 人（延べ 13 回）	0 人

イ DOTSカンファレンス

結核患者の服薬支援計画についての評価・検討を定期的（1回/月）に実施することにより、より良い服薬支援につなげ、治療完了率の向上を図ることに努めました。

カンファレンス件数 延べ182件（12回/年）

DOTSカンファレンスの内訳			
登録・退院後1ヵ月	登録後4ヵ月	LTBI登録後1ヵ月	LTBI登録後4ヵ月
79 件	61 件	24 件	18 件

ウ コホート検討会

結核患者の治療成績を分析するとともに、患者支援の評価・見直しを行い、地域DOTS体制の推進を図ることを目的として、喀痰塗抹陽性患者を対象に年3回検討会を開催し、結果については関係機関に還元しました。

コホート検討会の内訳			
コホート検討	死亡事例	失敗事例	脱落事例
30件	11件	0件	0件

エ 結核対策評価会議

結核患者の治療成績の分析及び支援方法の評価を踏まえ、事業全体の評価と見直しを行い、地域の結核対策全般に関する課題検討を行いました。

実施日：平成31年3月1日（金）

参加者数：28人 内訳（有識者2人、医療機関14人、その他関係機関12人）

（6）感染症診査協議会（結核診査部会）

感染症法に基づき、委員8名で構成し、市長の諮問に応じ、結核患者に対する指定医療機関への入院勧告、就業制限及び医療費の公費負担の申請に関する必要事項を審議しました。

公費負担については、一般患者（37条の2）は厚生労働省令で定める医療に要した費用の95%を、入院患者（37条）については医療費の全額を負担しました。

医療費負担区分別公費負担申請件数（感染症法第37条の2）

（各年累計）

区分 年	種別	総数	被用者保険		国民健康保険	後期高齢 者医療	生活保護法	その他
			本人	家族				
H26年	申請	202	41	15	60	69	17	0
	承認	201	41	15	60	68	17	0
H27年	申請	157	38	5	60	43	10	1
	承認	156	38	5	59	43	10	1
H28年	申請	147	40	3	51	40	11	2
	承認	146	40	3	50	40	11	2
H29年	申請	137	53	9	43	19	12	1
	承認	136	53	9	42	19	12	1
H30年	申請	101	31	1	27	34	7	1
	承認	101	31	1	27	34	7	1

当該年中に合否の決定がなされたものを計上。

感染症法に基づく入院勧告による入院患者数及び公費負担申請（感染症法第 37 条）件数

年	区分	入院患者数		公費負担申請件数 (各年累計)
		(各年累計)	(各年末現在)	
H26 年		37	8	101
H27 年		26	6	90
H28 年		25	4	67
H29 年		31	5	98
H30 年		25	6	77

当該年中に入院勧告を行った又は公費負担申請のあったものを計上。

法改正により公費負担の有効期間は平成 19 年度以降は最大 33 日。

(33 日間を超える入院が必要な場合は、感染症診査協議会で予め最大 30 日間の入院期間延長の決定をした上で、公費負担の継続申請の手続きが必要となる。)

(7) 結核予防啓発事業

結核に対する正しい知識の普及を図り、結核のまん延を未然に防止するため、各種予防啓発事業を実施しました。

ア 結核予防週間

毎年 9 月の最終週が厚生労働省により結核予防週間に定められ、市ホームページへの記事掲載、職域保健との連携、ポスターの配布等を通じて、啓発事業を行いました。

イ 複十字シール運動

財団法人結核予防会が主催している複十字シール運動に協力し、パンフレットの配布及び募金活動を行いました。

ウ 研修会

社会福祉施設向け研修会

市内の福祉施設等の職員を対象に、結核に対する正しい知識の普及啓発を図るため、研修会を実施しました。

実施日 平成 30 年 7 月 25 日(水)

会場 ウェルネスさがみはら 7 階 視聴覚室

内容 ・結核の基礎知識
・高齢者結核のDOTSと結核早期発見のために

参加者数 76 人

医療従事者研修会

結核の現状、課題及び治療の知識等を深めることにより、患者の早期診断、標準治療の普及、院内感染防止等を目的とし、市内の結核医療に従事する医療機関、施設等の関係者

を対象に研修会を実施しました。

実施日 平成 30 年 10 月 12 日 (金)
 会場 ウェルネスさがみはら 7 階 視聴覚室
 テーマ 「結核による院内感染と耐性菌結核の検査及び治療について」
 講師 公益財団法人結核予防会 結核研究所
 医師 吉山 崇 氏
 参加者数 59 人

エ 外国人無料なんでも相談会

さがみはら国際交流ラウンジ運営機構主催の外国人無料なんでも相談会(無料結核検診)にて神奈川県結核予防会と連携し健康相談等を行いました。

2 感染症対策事業

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、感染症発生時には、その類型に応じ、患者等の人権の保護に配慮し、積極的疫学調査、健康診断、その他必要な措置の迅速な対応に努めました。また、感染症発生の状況及び原因の調査を行い、感染症の発生の予防及びまん延の防止を図るとともに、感染症対策の効果的な実施を図るため、感染症発生動向調査を実施しました。

(1) 感染症発生届出状況 (年次推移)

(各年累計)(平成 30 年は暫定数)

年	区分	計	二類(結核除く)					三類				
			急性灰白髄炎	ジフテリア	呼吸器症候群	重症急性	(H5N1) 鳥インフルエンザ	(H7N9) 鳥インフルエンザ	コレラ	細菌性赤痢	腸チフス	パラチフス
H26年	全県	285	0	0	0	0	0	0	8	3	1	273
	市	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
H27年	全県	250	0	0	0	0	0	1	14	2	1	222
	市	10	0	0	0	0	0	0	1	1	2	6
H28年	全県	283	0	0	0	0	0	2	8	3	0	270
	市	18	0	0	0	0	0	0	0	1	0	17
H29年	全県	289	0	0	0	0	0	0	17	3	2	267
	市	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
H30年	全県	317	0	0	0	0	0	0	15	2	0	300
	市	10	0	0	0	0	0	0	2	0	0	8

平成 30 年に相模原市保健所への四類感染症の届出については、E 型肝炎 2 件、A 型肝炎 6 件、デング熱 1 件、つつがむし病 2 件、レジオネラ症 6 件の合計 17 件でした。

五類感染症(全数把握対象)は、アメーバ赤痢 8 件、ウイルス性肝炎 2 件、カルバペネム耐性腸内細菌感染症 18 件、急性弛緩性麻痺 1 件、急性脳炎 4 件、クロイツフェルト・ヤコブ病 7 件、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 5 件、後天性免疫不全症候群 7 件、侵襲性インフルエンザ菌感染症 4 件、侵襲性肺炎球菌感染症 11 件、梅毒 21 件、百日咳 34 件、風しん 23 件、水痘(入院例) 2 件の合計 147 件でした。

(2) 感染症診査協議会(感染症診査部会)

感染症診査協議会では、感染症患者に対する入院勧告及び入院期間の延長、就業制限に関する必要事項を審議します。

開催回数 1 回

(3) 感染症患者等保健指導

本人・家族・社会福祉施設等から正確な情報収集を行い、感染症の予防やまん延防止に努めました。

指導内訳(延人数)			
訪問(調査)	電話	面接	文書
58 人	837 人	28 人	882 人

(4) 学校等におけるインフルエンザによる学級閉鎖等状況

(平成 30 年 9 月 3 日～令和元年 5 月 19 日累計)

施設	保育園・幼稚園	小学校	中学校	その他の学校	計
施設閉鎖数	0	1	0	0	1
学年閉鎖数	0	23	1	0	24
学級閉鎖数	12	351	65	4	432

・県の「インフルエンザ防疫対策実施要領」に基づき、平成 30 年 12 月 10 日に、市内におけるインフルエンザ事例の初発校において調査を実施しました。

調査結果：小学生児童 2 名のうがい液を採取し検査を実施した結果、2 名からインフルエンザウイルス A 型(H3)の遺伝子を検出しました。

(5) 感染症予防啓発事業

感染症の予防やまん延防止等を目的として、感染症に関する正しい知識の普及啓発を行いました。

- ・健康教育：9 回(集団感染発生時の感染症対策等) 参加者 245 人
- ・感染症対策のポイントを市内全介護事業所に説明：全 6 回、延参加者 610 人
- ・インフルエンザ予防啓発ポスターを配布：1,944 箇所(市内事業所、高齢者施設、保育園、幼稚園、小学校、中学校等)
- ・広報さがみはらに記事を掲載

(6) 感染症発生動向調査事業

感染症の発生予測及び予防対策の効果的な実施を図るため、感染症の発生の状況、動向及び原因の調査を行い、関係機関に情報の提供を行いました。

- ・全数把握対象疾患：一～四類感染症全て及び新型インフルエンザ等感染症と五類感染症のうち 24 疾患の計 88 疾患
- ・定点把握対象疾患（指定医療機関からの届出）：五類感染症のうち 25 疾患
患者定点：33 医療機関、病原体定点：7 医療機関

3 性感染症予防対策事業

人権や社会的背景に配慮しつつ、H I V 感染症（エイズ）等の性感染症の拡大の抑制と患者が安心して療養生活を送れる環境づくりのために、正しい知識の普及啓発、相談・検査体制及び患者等の支援の充実、性感染症対策を推進するための体制整備に努めました。

(1) H I V（エイズ）相談・検査

患者・感染者及びその家族や感染に不安を持つ者に対して電話や面接での随時相談に加え、火曜日、月 2 回土曜日（無料、匿名）の H I V（エイズ）相談・抗体検査を実施しました。

ア H I V（エイズ）相談・検査実施状況 (単位：人)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
相談	1,019	872	907	919	1,035
検査	509	473	497	491	542

イ H I V（エイズ）検査(性・年齢別)実施状況(平成 30 年度) (単位：人)

	計	0～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上
男	365	12	123	87	79	34	30
女	177	8	97	43	20	6	3
計	542	20	220	130	99	40	33

(2) 性感染症相談・検査

患者・感染者及びその家族や感染に不安を持つ者に対して電話や面接での随時相談に加え、火曜日、月 2 回土曜日（無料、匿名、H I V（エイズ）検査と同時実施）の性感染症相談・抗体検査を実施しました。

ア クラミジア相談・検査実施状況 (単位：人)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
相談	865	763	839	857	886
検査	436	393	443	448	468

イ クラミジア検査(性・年齢別)実施状況(平成 30 年度) (単位：人)

	計	0～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上
男	308	11	100	71	69	29	28
女	160	8	86	40	17	6	3
計	468	19	186	111	86	35	31

ウ 梅毒相談・検査実施状況 (単位：人)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
相談	885	785	836	853	937
検査	445	415	445	454	496

エ 梅毒検査(性・年齢別)実施状況(平成 30 年度) (単位：人)

	計	0～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上
男	334	11	113	78	73	31	28
女	162	8	88	40	17	6	3
計	496	19	201	118	90	37	31

(3) HIV(エイズ) 予防啓発事業

HIV(エイズ)および性感染症は、正しい知識を持つことや、適切な性行動の選択ができることが予防につながります。そこで、性に関する意思決定や行動選択に係る能力が形成過程にある青少年に対し、市内の中学校や高等学校で講演会を実施しました。

また、世界エイズデーにあわせて、ハイリスク層を対象とした相談・検査を実施しました。

ア 「世界エイズデー」に伴う予防啓発キャンペーン

実施日 平成 30 年 12 月 2 日(日)

会 場 ユニコムプラザさがみはら

内 容 ハイリスク層を対象とした相談・検査

HIV(エイズ)・梅毒・B型肝炎の即日検査

イ 性感染症予防講演会の開催

対 象	回 数	人 数
中学生	18 回	2,232 人
高校生	10 回	2,378 人

(4) HIV(エイズ) 対策の推進に向けた体制整備

市民のニーズに応じたHIV(エイズ)対策を総合的かつ効果的に実施するために、マンパワーの充実とともに、保健医療、福祉、教育、NPO、市民等の協力連携の推進に努めました。

(5) エイズ対策特別促進事業

HIV感染者の増加及び高齢化等に伴い、長期療養・在宅療養を積極的に支える体制整備の推進が必要とされているなか、地域の福祉施設や医療機関の受け入れ体制の向上をはかることを目的とし、市内の高齢者福祉施設等を対象に研修会を実施しました。

実施日 平成31年2月19日(火)
会場 けやき会館 大研修室
テーマ 「HIV患者を地域で支えるために」
講師 国立研究開発法人
国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
看護支援調整職 池田和子 氏
事例提供
北里大学病院 内科専門外来 加藤 笑 氏
北里大学病院 トータルサポートセンター 本田 伊織 氏
参加者数 35人

4 肝炎対策事業

B型・C型肝炎ウイルス感染に不安を持つ者に対して電話や面接での随時相談に加え、無料でB型・C型肝炎ウイルス検査を実施しました。

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
検査件数	168	136	74	86	102

平成20年1月から実施

5 予防接種事業

(1) 定期予防接種

感染のおそれがある疾病の発生及びまん延を防止するため、予防接種法に基づき、定期の予防接種(ジフテリア、破傷風、百日せき、ポリオ(急性灰白髄炎)、麻しん、風しん、日本脳炎、BCG、ヒトパピローマウイルス感染症(子宮頸がん)、Hib感染症、小児の肺炎球菌感染症、水痘、B型肝炎及び高齢者インフルエンザ、高齢者の肺炎球菌感染症)を実施しました。

ア 乳幼児等予防接種

乳幼児、小中学生等を対象に、協力医療機関(148箇所)で予防接種を実施しました。また、協力医療機関以外のかかりつけ医療機関等での予防接種に対して助成金制度を実施しました。

区 分	26年度			27年度			28年度			29年度			30年度		
	計画数	延接種者数	()	計画数	延接種者数	()	計画数	延接種者数	()	計画数	延接種者数	()	計画数	延接種者数	()
計	138,242	130,557	(89)	122,832	121,148	(140)	128,644	127,281	(237)	129,932	129,637	(208)	123,947	129,481	(276)
四種混合	21,530	21,402	(16)	20,682	21,975	(34)	21,758	21,700	(54)	20,872	20,590	(38)	19,733	20,513	(51)
三種混合	3,590	2,092	(2)	400	66		75	3		16	0		0	0	
二種 1期	13	1		10	0		0	4		0	0		0	0	
混合 2期	5,130	3,910		3,540	3,550	(2)	3,509	3,882		3,528	3,803		3,981	4,387	
麻し 1期	5,510	5,680	(1)	5,660	5,610	(3)	5,400	5,504	(4)	5,239	5,139	(2)	4,773	5,189	(4)
ん風 2期	5,550	5,749	(2)	5,810	5,660		5,267	5,565		5,125	5,375	(1)	5,557	5,427	(1)
しん 3期															
混合 4期															
麻しん	23	1		5	1		0	1		0	0		0	1	
ん風しん	43	1		5	1		0	0		0	0		0	2	
日本 1期	10,790	20,246	(5)	11,800	17,620	(1)	13,707	17,430	(6)	13,768	17,467	(3)	13,841	17,766	(9)
脳炎 2期	11,651	3,953		9,540	4,235		8,033	5,564	(1)	7,949	5,774		8,981	5,879	
BCG	4,970	5,610	(3)	4,880	5,490	(5)	5,400	5,340	(9)	5,234	5,025	(8)	4,773	5,073	(7)
不活化ポリオ	4,540	5,400	(5)	2,710	1,286		591	707	(3)	779	426		566	154	
子宮頸がん予防	270	46		60	24		26	12		22	14		9	41	
ヒブ	22,351	22,698	(27)	21,120	22,009	(45)	20,949	21,253	(62)	20,583	20,309	(54)	19,264	20,091	(69)
小児用肺炎球菌	22,351	22,461	(26)	21,210	21,974	(45)	20,894	21,340	(60)	20,693	20,372	(54)	19,290	20,186	(69)
水痘	19,930	11,307	(2)	15,400	11,647	(5)	12,703	10,649	(5)	10,423	9,930	(4)	9,427	9,934	(12)
B型肝炎							10,332	8,327	(33)	15,701	15,413	(44)	13,752	14,838	(54)

* 延接種者数の () は、助成金制度の実施者数 (内数)
* 延べ接種者数には、区域外接種者を含む

イ 高齢者予防接種

・インフルエンザ予防接種

高齢者を対象に、協力医療機関等 (323 箇所) で高齢者インフルエンザ予防接種を実施しました。

区分	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	対象者数	接種者数	対象者数	接種者数	対象者数	接種者数	対象者数	接種者数
65 歳以上の方	169,183	69,255	174,388	72,031	178,634	70,866	181,494	73,994
60 歳以上 65 歳未満の心臓、じん臓若しくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に高度の障害を有する方	身体障害者 手帳1級 交付者数 370	183	身体障害者 手帳1級 交付者数 338	169	身体障害者 手帳1級 交付者数 310	157	身体障害者 手帳1級 交付者数 307	146
合計	169,553	69,438	174,726	72,200	178,944	71,023	181,801	74,140

* 65 歳以上の対象者数は各年度の 1 月 1 日現在の住民基本台帳人口

・肺炎球菌感染症予防接種

高齢者を対象に、協力医療機関等（277 箇所）で高齢者の肺炎球菌感染症予防接種を実施しました。

区分	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	対象者数	接種者数	対象者数	接種者数	対象者数	接種者数	対象者数	接種者数
65,70,75,80, 85,90,95,100 歳の方*	36,675	12,467	39,577	14,095	41,875	14,927	41,555	12,946
60 歳以上 65 歳未満 の心臓、じん臓若し くは呼吸器の機能 又はヒト免疫不全 ウイルスによる免 疫の機能に高度の 障害を有する方	身体障害者 手帳 1 級 交付者数 370	1	身体障害者 手帳 1 級 交付者数 338	1	身体障害者 手帳 1 級 交付者数 310	6	身体障害者 手帳 1 級 交付者数 307	0
合計	37,045	12,468	39,915	14,096	42,185	14,933	41,862	12,946

* 65 歳以上の対象者数は年度の 4 月 1 日現在の住民基本台帳人口。26 年度のみ 101 歳以上を含む。接種履歴は勘案していない。

(2) 任意予防接種

予防接種法に基づかない任意の予防接種について、次のとおり接種費用等の助成を行いました。

ア 風しん予防接種促進事業

先天性風しん症候群の発生防止を目的として、風しん抗体検査費用の助成及び予防接種費用の一部助成を行いました。

区 分		平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
		対象者数	接種者数	対象者数	接種者数	対象者数	接種者数	対象者数	接種者数
妊娠を予定、 希望する女性	抗体検査	266	341	260	331	248	310	1,251	1,660
	予防接種	139	144	130	131	135	125	636	610

* 対象者数は、予算積算で使用したもの。

* 平成 30 年 11 月より対象者を拡大し、「妊娠を予定、希望する女性の配偶者、妊婦の配偶者」も対象としました。